

## 第6回「チーム 新・湯治」セミナー

# 現代人の生活に“寄り添う温泉”とは ～健康の維持・増進の観点から温泉地の可能性を考える～ 開催概要

ストレス・情報過多な社会に生きる現代人の「心身の健康の維持・増進」に、温泉や温泉地はどのように寄与できるのか。温泉入浴や温泉地の優れた環境(空間、迎える人々等)に期待される可能性を探るとともに、それらを顕在化させるための今後の取組の方向性について、主にビジネスの現場である企業サイドにおいて取り組まれている事例から考える。

●日 時 : 令和2年 8 月 26 日(水)14:00～17:00

●開催形式 : オンライン配信 ※新型コロナウイルスの感染予防のため  
※YouTube Live での配信

### ●プログラム:

#### 1. 開会挨拶

#### 2. セミナーの趣旨説明、講師紹介

#### 3. 講演①「温泉地を舞台に、自分らしい生き方を支援する」

[講師:伊藤崇 氏(株式会社リヴァ 代表取締役)]

うつ病を患う人々へ再発予防訓練や職場復帰・再就職支援を行う。温泉地における取組としては、2019 年から宮城県鳴子温泉にて復帰間際の人を受け入れる「インターンシップ」を開始した。

#### 4. 講演②「日常生活における健康と温泉地での健康プログラムを結び付ける」

[講師:阿瀬宏太 氏(株式会社 5-RELAX(ゴリラックス)]

関西の都市部に医療とスポーツ科学を掛け合わせ店舗を展開し、スポーツ競技者へのトレーニング指導のみならず、一般の人々に対して、日常生活において“しあわせ”が生まれるコンディションの整え方をメソッド化し提供。2019 年には、新温泉町が湯村温泉で実施した【温泉地×温熱×リラックス】(新・湯治コンテンツモデル調査)の支援も行った。

#### 5. 講演③「都会で働く現代人の知的リフレッシュにも応える温泉地のあり方

～With コロナ時代を見据えて」

[講師:田原祐子 氏(株式会社ベーシック 代表取締役)]

チーム新・湯治が初年度から扱っているテーマ「ワーケーション」が、コロナ禍で注目を集めている。2019 年には、伊豆・修善寺温泉にて、【温泉地×Business Woman&オープンイノベーション】(新・湯治コンテンツモデル調査)をテーマに、女性リーダーを対象とした「温泉地ミーティング」を開催した。

#### 6. 意見交換

#### 7. 閉会挨拶

## 講師プロフィール

いとうたかし

### 伊藤 崇 氏【株式会社リヴァ 代表取締役】

宮城県仙台市出身。大手 IT 企業、および福祉系ベンチャー企業を経て、2010 年 8 月に株式会社リヴァを設立。2011 年からうつ病などメンタル疾患の方を対象にした社会復帰支援サービス「リヴァトレ」の提供を開始。2018 年には法人向け休職者支援サービス「リヴァ Biz」、福祉事業者向け業務効率化クラウドサービス「LACICRA」を立ち上げた。他人のモノサシではなく、「自分」に正直な人生を歩む人を増やすことを目指している。

あせこうた

### 阿瀬宏太 氏【株式会社 5-RELAX (ゴリラックス)】

セラピスト/柔道整復師/鍼灸師/ストレッチング協会講師。ストレッチセミナーや健康講座などスポーツチームや一般の方に対して数多く行う。2019 年には、新温泉町が湯村温泉で実施した新・湯治コンテンツモデル調査【温泉地×温熱×リラックス】において、コンディショニング(温熱リラックスと朝アクティブ)に指導を行った。

たはらゆうこ

### 田原祐子 氏【株式会社ベーシック 代表取締役】

世界 46 カ国が加盟する国際公認経営コンサルティング協議会の認定を持つコンサルタント。社会情報大学院大学 先端教育研究所 客員教授。温泉健康指導士。温泉ソムリエ。新規事業の立案を得意とし、オフサイトミーティング・ワーケーションについても、2012 年から取り組んでいる。2019 年には、伊豆マリオットホテル修善寺、プレジデント社「PRESIDENT WOMAN」と連携して、新・湯治コンテンツモデル調査【温泉地×Business Woman & オープンイノベーション】を実施した。

## 配布資料(8点)

1. プログラム
2. 第 6 回チーム新・湯治セミナー参加者一覧及び「チーム新・湯治」チーム員名簿(簡易版)
3. 講師資料「温泉地を舞台に、自分らしい生き方を支援する」(伊藤様)
4. 講師資料「日常生活における健康と温泉地での健康プログラムを結び付ける」(阿瀬様)
5. 講師資料「都会で働く現代人の知的リフレッシュにも応える温泉地のあり方  
～With コロナ時代を見据えて」(田原様)
6. チーム新・湯治 NEWS LETTER No.5  
※令和元年度チーム新・湯治モデルコンテンツ調査実施経過報告
7. チーム新・湯治 NEWS LETTER No.6
8. 第 5 回全国温泉地サミットの開催及び第2回チーム新・湯治全国大会への出席について

お問い合わせ

(公財)日本交通公社 チーム新・湯治係(後藤・安谷)宛  
[環境省 令和2年度「チーム 新・湯治」運営等実施業務 請負事業者]  
【FAX】03-5770-8359 【E-mail】shintoji-seminar@jtb.or.jp  
【住所】〒107-0062 東京都港区南青山二丁目 7 番 29 号 日本交通公社ビル